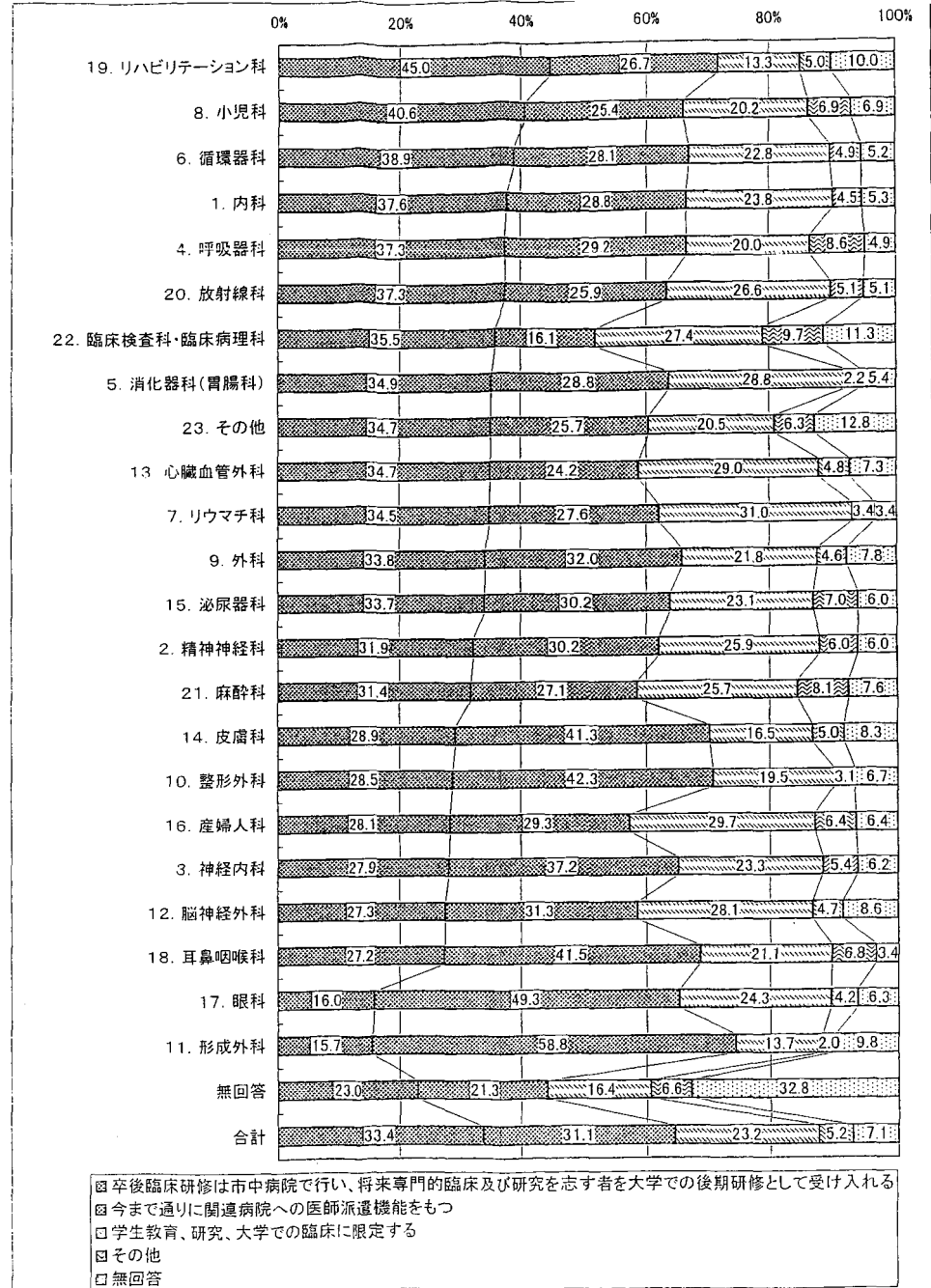
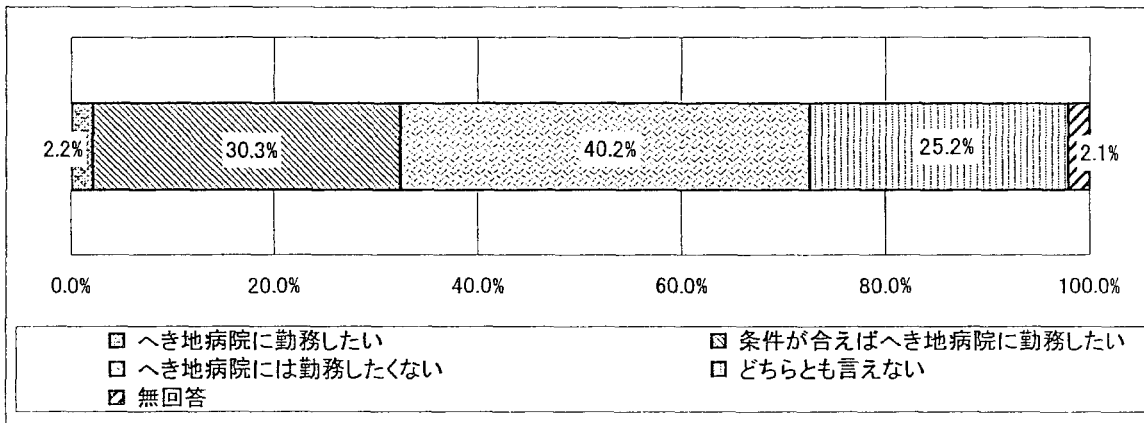


Q11*Q25(人)	Q25 今後の大学医学部・医局のあり方についてどう思われますか。					合計
Q11 現在の主たる診療科目又は就業内容は何か	卒後臨床研修は (%)	今まで通りに関 (%)	学生教育、研究 (%)	その他	無回答	
19. リハビリテーション科	27 (45.0)	16 (26.7)	8 (13.3)	3	6	60
8. 小児科	147 (40.6)	92 (25.4)	73 (20.2)	25	25	362
6. 循環器科	126 (38.9)	91 (28.1)	74 (22.8)	16	17	324
1. 内科	326 (37.6)	250 (28.8)	206 (23.8)	39	46	867
4. 呼吸器科	69 (37.3)	54 (29.2)	37 (20.0)	16	9	185
20. 放射線科	59 (37.3)	41 (25.9)	42 (26.6)	8	8	158
22. 臨床検査科・臨床病理科	22 (35.5)	10 (16.1)	17 (27.4)	6	7	62
5. 消化器科(胃腸科)	97 (34.9)	80 (28.8)	80 (28.8)	6	15	278
23. その他	100 (34.7)	74 (25.7)	59 (20.5)	18	37	288
13. 心臓血管外科	43 (34.7)	30 (24.2)	36 (29.0)	6	9	124
7. リウマチ科	10 (34.5)	8 (27.6)	9 (31.0)	1	1	29
9. 外科	279 (33.8)	264 (32.0)	180 (21.8)	38	64	825
15. 泌尿器科	67 (33.7)	60 (30.2)	46 (23.1)	14	12	199
2. 精神神経科	37 (31.9)	35 (30.2)	30 (25.9)	7	7	116
21. 麻酔科	66 (31.4)	57 (27.1)	54 (25.7)	17	16	210
14. 皮膚科	35 (28.9)	50 (41.3)	20 (16.5)	6	10	121
10. 整形外科	111 (28.5)	165 (42.3)	76 (19.5)	12	26	390
16. 産婦人科	70 (28.1)	73 (29.3)	74 (29.7)	16	16	249
3. 神経内科	36 (27.9)	48 (37.2)	30 (23.3)	7	8	129
12. 脳神経外科	70 (27.3)	80 (31.3)	72 (28.1)	12	22	256
18. 耳鼻咽喉科	40 (27.2)	61 (41.5)	31 (21.1)	10	5	147
17. 眼科	23 (16.0)	71 (49.3)	35 (24.3)	6	9	144
11. 形成外科	8 (15.7)	30 (58.8)	7 (13.7)	1	5	51
無回答	14 (23.0)	13 (21.3)	10 (16.4)	4	20	61
合計	1,892 (33.4)	1,753 (31.1)	1,306 (23.2)	294	400	5635



Q26 あなたはへき地病院に（今後も）勤務したいですか。

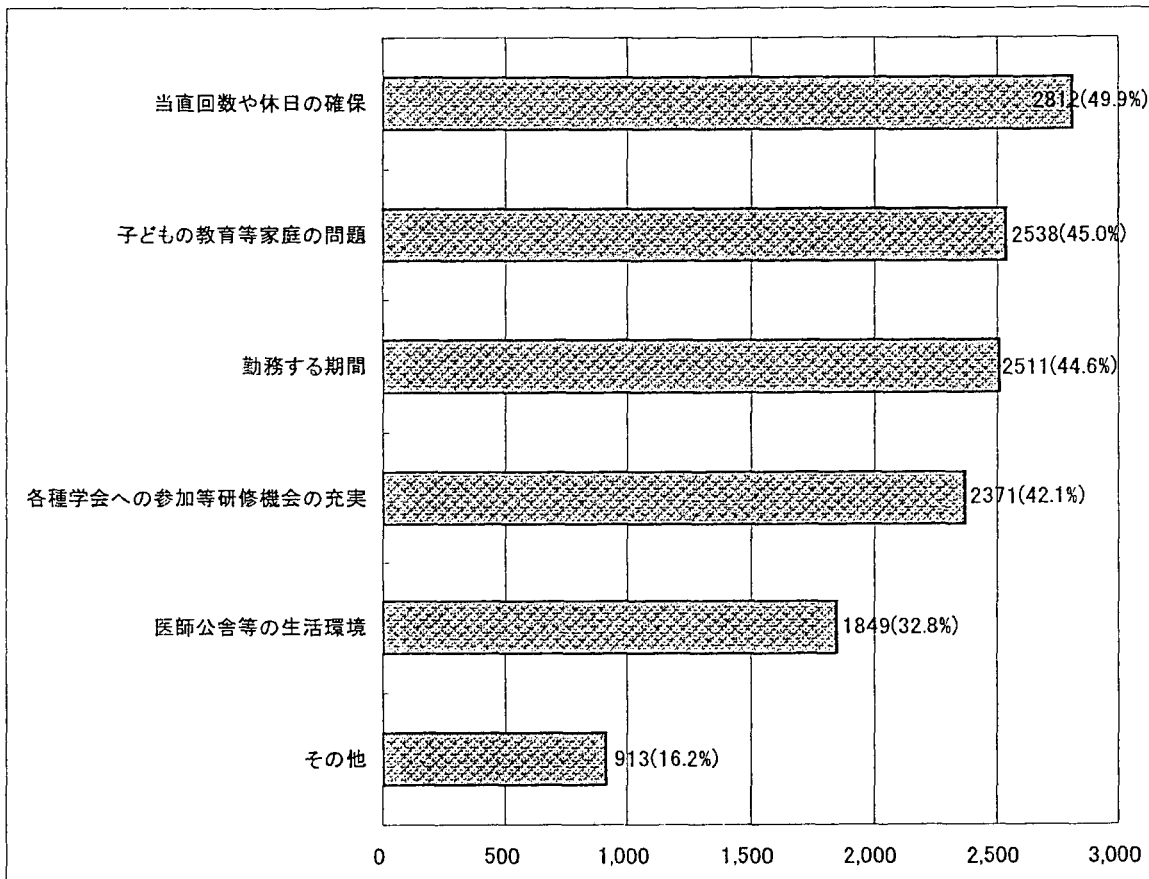
	回答数(%)
へき地病院に勤務したい	122 ( 2.2)
条件が合えばへき地病院に勤務したい	1,706 ( 30.3)
へき地病院には勤務したくない	2,266 ( 40.2)
どちらとも言えない	1421 ( 25.2)
小計	5,515 ( 97.9)
無回答	120 ( 2.1)
計	5,635 (100.0)



へき地病院への勤務は、「したくない」が40.2%だが、「勤務したい」と、「条件が合えば勤務したい」とを合わせると32.5%であった。

Q27 主にどのような条件が合えばへき地病院に勤務したいですか。（複数回答可）

	回答数(%)
当直回数や休日の確保	2,812(49.9)
子どもの教育等家庭の問題	2,538(45.0)
勤務する期間	2,511(44.6)
各種学会への参加等研修機会の充実	2,371(42.1)
医師公舎等の生活環境	1,849(32.8)
その他	913(16.2)



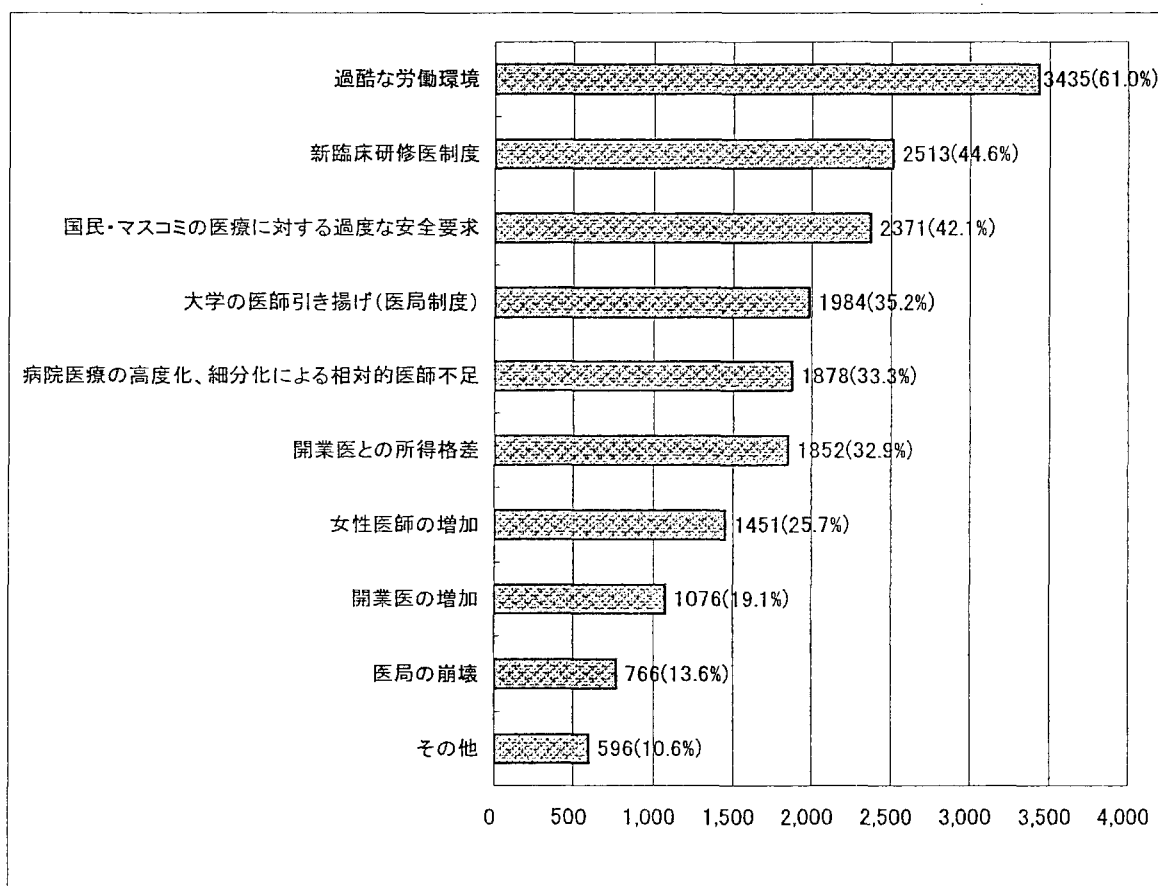
へき地病院の勤務条件は、「当直回数や休日の確保」を挙げているのが49.9%、次いで「子どもの教育等家庭の問題」が45.0%、「勤務する期間」が44.6%、「各種学会への参加等研修機会の充実」が42.1%であった。早急にへき地病院の受け入れ環境の整備が必要である。

今後の医師養成システム、及び医療提供体制システムを考える上で多大の示唆を示すものである。

Q28 勤務医不足の要因について

①その原因（特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください）

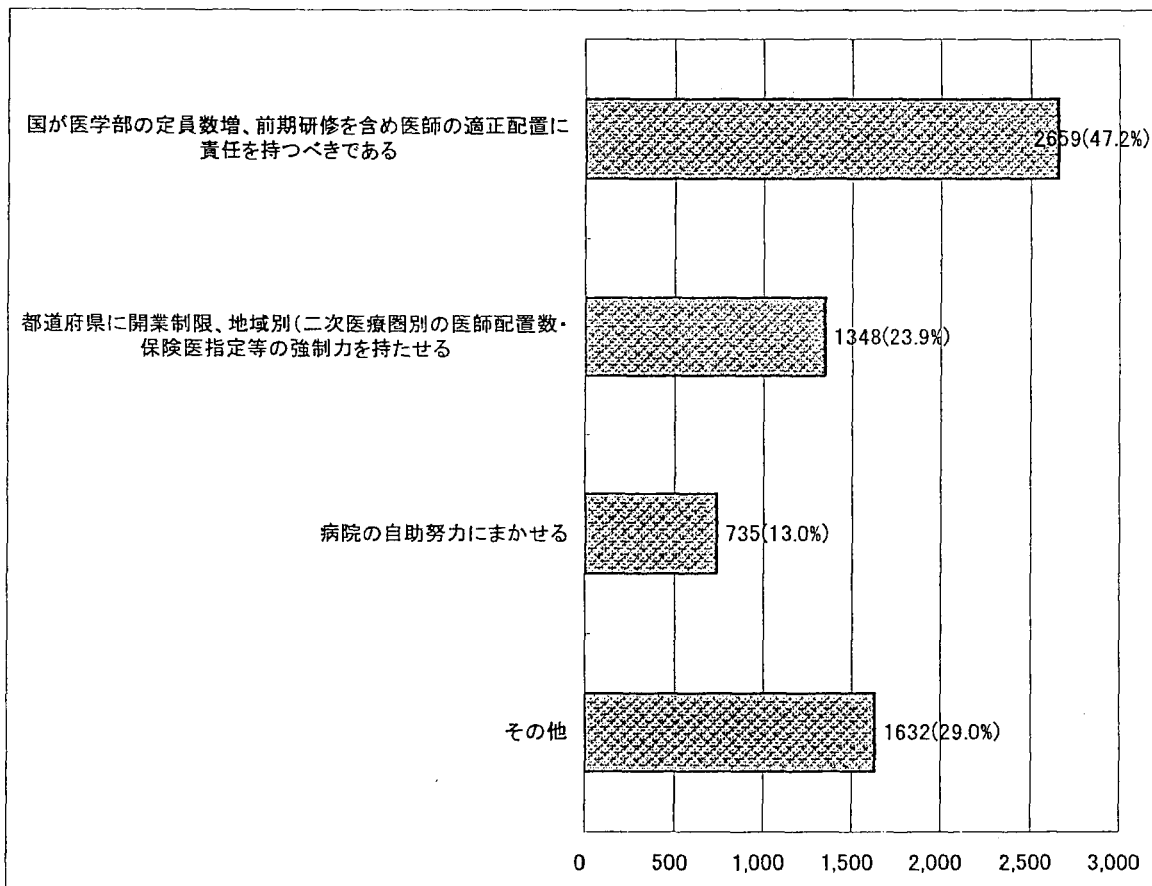
	回答数	回答率
過酷な労働環境	3,435	61.0%
新臨床研修医制度	2,513	44.6%
国民・マスコミの医療に対する過度な安全要求	2,371	42.1%
大学の医師引き揚げ(医局制度)	1,984	35.2%
病院医療の高度化、細分化による相対的医師不足	1,878	33.3%
開業医との所得格差	1,852	32.9%
女性医師の増加	1,451	25.7%
開業医の増加	1,076	19.1%
医局の崩壊	766	13.6%
その他	596	10.6%



勤務医不足の要因は、「過酷な労働環境」を挙げているのが61.0%と最も多く、次いで「新臨床研修医制度」が44.6%、「国民・マスコミの医療に対する過度な安全要求」が42.1%であった。これの要因が解消されないと、ますます勤務医は病院を離れて開業し勤務医不足の悪循環に陥ることが伺われる。

②その対策（複数回答可）

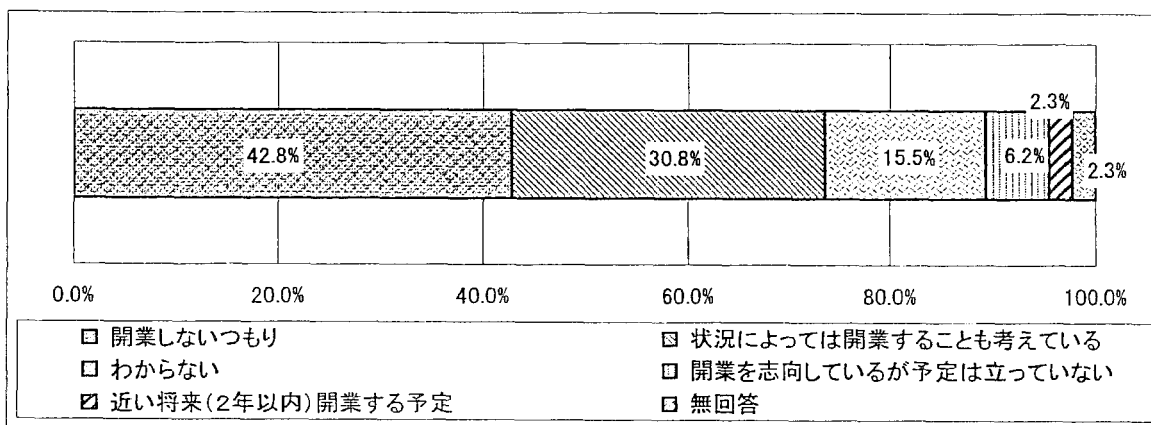
	回答数	回答率
国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである	2,659	47.2%
都道府県に開業制限、地域別（二次医療圏別の医師配置数・保険医指定等の強制力を持たせる	1,348	23.9%
病院の自助努力にまかせる	735	13.0%
その他	1,632	29.0%



勤務医不足の対策は、「国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである」を挙げているのが47.2%で最も多かった。国に対策を求める意見が多かった。

Q29 あなたは将来開業を志向しますか。

	回答数(%)
開業しないつもり	2,412 ( 42.8)
状況によっては開業することも考えている	1,737 ( 30.8)
わからない	875 ( 15.5)
開業を志向しているが予定は立っていない	350 ( 6.2)
近い将来(2年以内)開業する予定	129 ( 2.3)
小計	5,503 ( 97.7)
無回答	132 ( 2.3)
計	5,635 (100.0)



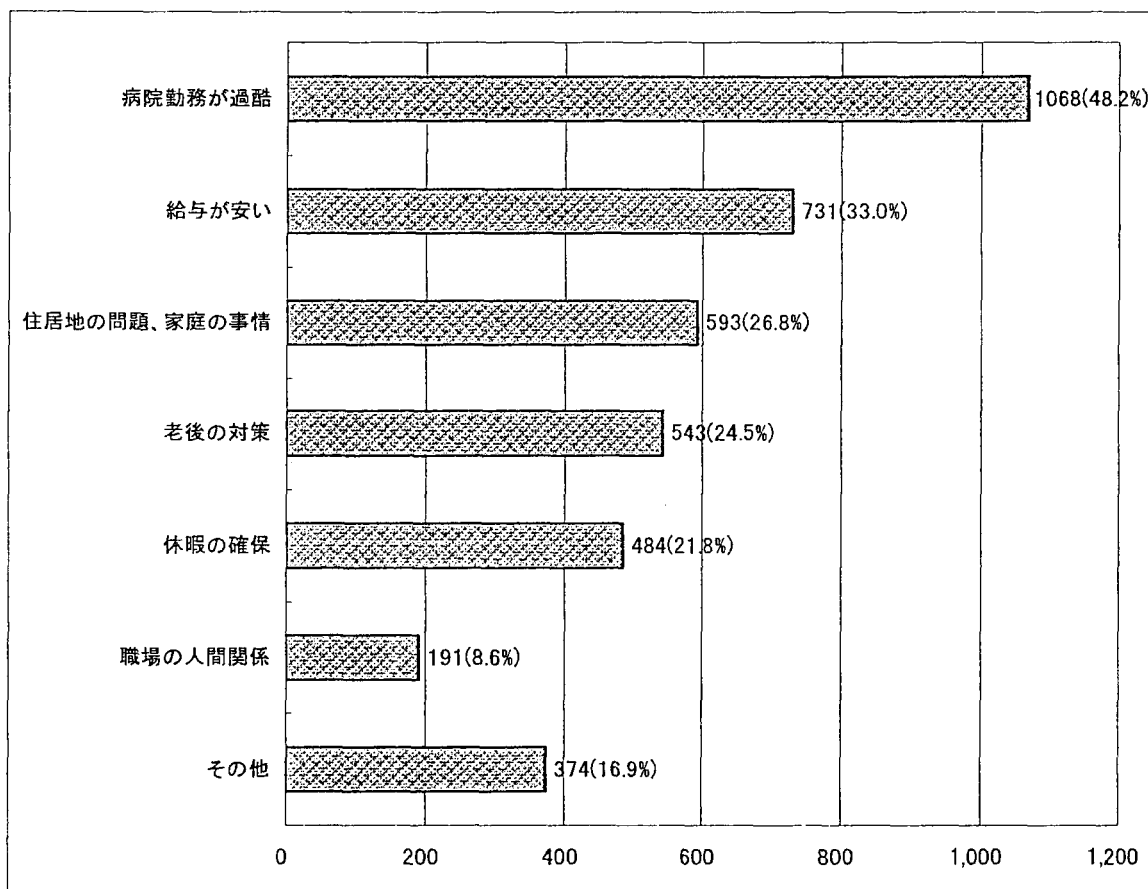
将来の開業志向は、「開業しないつもり」が42.8%と最も多いが、「状況によっては開業することも考えている」が30.8%、「開業を志向しているが予定は立っていない」が6.2%、「近い将来(2年以内)開業する予定」が2.3%、合わせて39.3%であった。

Q30 Q29で「1. 近い将来（2年以内）開業する予定」「2. 開業を志向しているが予定は立っていない」「3. 状況によっては開業することも考えている」と答えた方に伺います。

その理由は何ですか。

n=2216

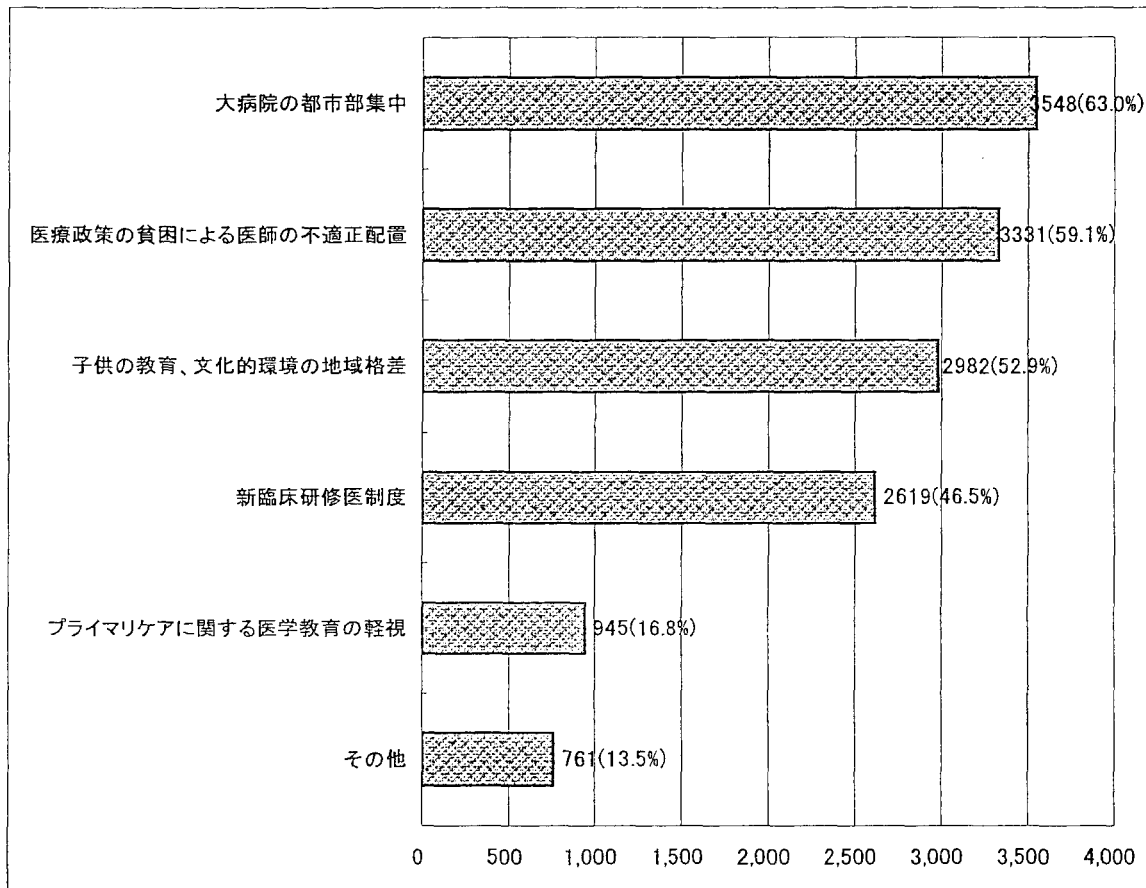
	回答数	回答率
病院勤務が過酷	1,068	48.2%
給与が安い	731	33.0%
住居地の問題、家庭の事情	593	26.8%
老後の対策	543	24.5%
休暇の確保	484	21.8%
職場の人間関係	191	8.6%
その他	374	16.9%



Q. 29で「1. 近い将来（2年以内）開業する予定」「2. 開業を志向しているが予定は立っていない」「3. 状況によっては開業することも考えている」と答えた医師が挙げるその理由は、「病院勤務が過酷」が48.2%と最も多く、次いで「給与が安い」が33.0%、「住居地の問題、家庭の事情」が26.8%であった。ここでも勤務医と開業医との格差が指摘されている。

Q31 勤務医の地域偏在は何故起こったかと思われますか。  
 (特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください)

	回答数	回答率
大病院の都市部集中	3,548	63.0%
医療政策の貧困による医師の不適正配置	3,331	59.1%
子供の教育、文化的環境の地域格差	2,982	52.9%
新臨床研修医制度	2,619	46.5%
プライマリケアに関する医学教育の軽視	945	16.8%
その他	761	13.5%

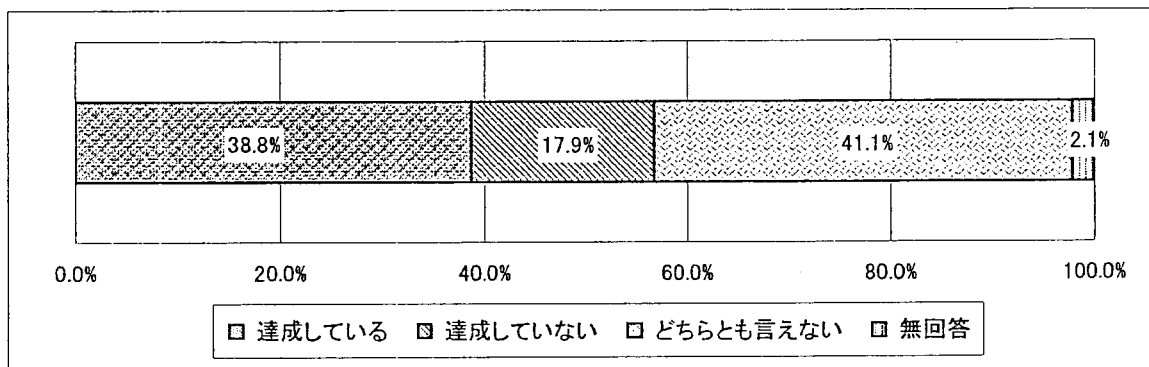


勤務医の地域偏在の要因は、「大病院の都市部集中」を考えているのが63.0%と最も多く、次いで「医療政策の貧困による医師の不適正配置」が59.1%、「子供の教育、文化的環境の地域格差」が52.9%、いずれも過半数を占める。「新臨床研修医制度」は46.5%。



Q32 医師を志望した動機と現在の仕事を比較し、初志が達成されていますか。

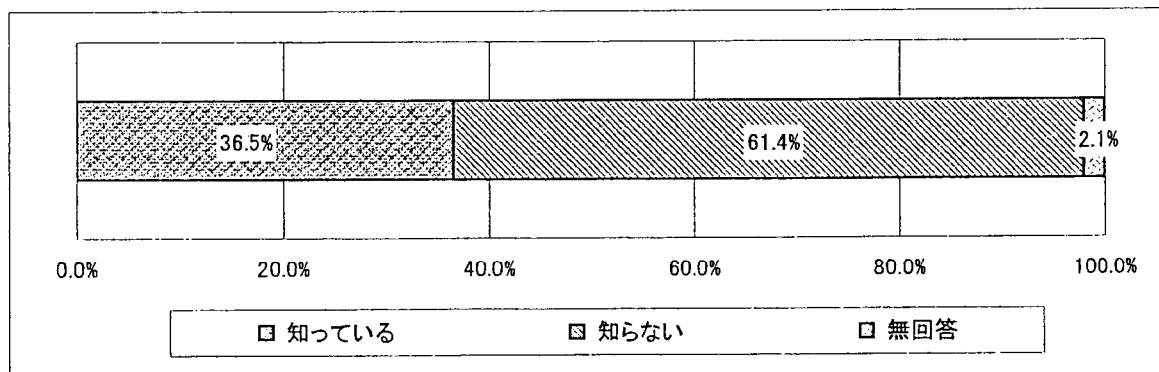
	回答数(%)
達成している	2,185 ( 38.8)
達成していない	1,011 ( 17.9)
どちらとも言えない	2,318 ( 41.1)
小計	5,514 ( 97.9)
無回答	121 ( 2.1)
計	5,635 (100.0)



3分の1しか達成感を持ってないでいる。

Q33 日本病院会を知っていますか。

	回答数(%)
知っている	2,058 ( 36.5)
知らない	3,458 ( 61.4)
小計	5,516 ( 97.9)
無回答	119 ( 2.1)
計	5,635 (100.0)



いままでの日本病院会の会員構成や活動が勤務医対象でないこともありこのような結果なのであろうが、今後は勤務医への広報も必要になるだろう。

